

崖

響

～疾風勁草、足高健児！！～

第1号 2018/5/11 発行
栃木県立足利高等学校
進路指導部

平成30年度入試報告～次は、君たちの番だ！！～

進路指導主事 栗原 秀之

■東大、東工大、一橋大、名古屋大など難関大学に現役合格！

文系の最難関・東京大学（文科一類*法学部に相当）加えて、東京工業大学（第6類）と一橋大学（経済）、名古屋大学（工）に現役合格を果たしました。東大、東工大、一橋大の3つに現役合格者が同時に出るのは、足高としては実に14年ぶりのことです。また、国公立大学においては、北海道から長崎や鹿児島にわたって合格者が出ています。次に、私立大学を見てみますと、今年度は早稲田大学と慶応大学に多くの合格者が出ました。高く志望を持ち、学習に励んだ成果だと思います。一方で、私立大学については国の入学定員管理厳格化の方針のもと、昨年度よりも合格者が絞られ、難化の傾向にあります。一割近く合格者を絞った大学もあったようです。この傾向はこれからも続くと思われるので、在校生にはいっそうの奮励努力を期待します。（詳細は、6月に配付予定の『平成30年度大学進学資料』をご覧ください。）

平成30年度 大学合格状況			
大学名	30年度	大学名	30年度
室蘭工大	2(2)	獨協大	9(8)
東北大	3(0)	文教大	5(4)
秋田大	3(3)	青山学院大	2(2)
山形大	1(1)	北里大	3(1)
福島大	1(1)	慶応大	3(3)
茨城大	2(2)	駒澤大	7(4)
宇都宮大	6(6)	芝浦工大	8(6)
群馬大	16(14)	上智大	1(1)
埼玉大	3(2)	専修大	3(3)
千葉大	5(4)	中央大	6(5)
東京大	1(1)	東京電機大	14(12)
東京学芸大	1(1)	東京農大	2(2)
東京工業大	1(1)	東京理大	5(3)
一橋大	1(1)	東洋大	22(21)
横浜国立大	2(2)	日本大	14(13)
新潟大	2(1 医)	法政大	13(10)
山梨大	2(2)	明治大	17(12)
名古屋大	1(1)	立教大	6(5)
名古屋工大	1(0)	早稲田大	9(7)
長崎大	1(1)	同志社大	1(1)
鹿児島大	1(1)	国際医療福祉大	5(5)
秋田県立大	1(1)	白鷗大	25(25)
群馬健康科学大	1(1)	獨協医大	1(1)
高崎経大	6(6)	その他	159(147)
前橋工科大	2(1)	合計	340(301)
首都大東京	1(1)		
その他	2(1)		
合計	69(58)		

()内の数字は現役数

■自分の将来を見据えたと『深い進路研究』と『妥協なき挑戦』を！！

長崎大学と鹿児島大学に合格した生徒は水産学科志望でした。妥協して近くの大学の他の学科に変更することなく、自分の学びたいことが学べる大学を目指し続けた気概は実に立派だと思います。是非、在校生の皆さんも自分の将来をしっかりと見据えた『深い進路研究』を行ってください。

ところで、生徒の皆さんは模試の教科ごとの偏差値を覚えていますか。昨年、面談をしたとき、成績が良くない生徒ほど偏差値を覚えていませんでした。覚えていないということは、俯瞰的に自己分析をできていないという証拠です！自分が何ができないかわかっていないということは、つまり『この勉強をやらなきゃ！』と焦ることさえできないでしょう。これを読んでいる君たちの中に直近の模試の成績をばっと思い出せない者がいたならば、直ちに苦手教科や分野を分析して、今ここから計画的な学習を始めよう！生徒諸君、まだまだ時間はたっぷりある！皆さんの健闘を祈ります。

受験を振り返って...

旧3学年担任からのメッセージ ～新旧3学年担任懇談会より～

理系

- 私立大学については、幅広く上位校から滑り止めまで考えておくことが肝要。
- 私立大学の後期募集（Ⅱ期・Ⅲ期募集）や3月の入試で合格した生徒もいたので、最後まであきらめず受験してみるのも良い。

文系

- 私立大学文系学部は年々競争が激しくなっており、「昨年はこのくらいのレベルで受かったのに…」は通じないと実感した。
- 国公立の2次対策（小論文&実技）は、学校で対策するとやはり効果があると思いました。

入試全般について

- 不安な生徒は早い時期の入試で本番の空気を感じておくとうい。（12月に実施される入試を練習として受けてみると効果的）
- 最後まで学校に来て普段通りに生活のリズムを整えて、学習することは絶対に必要である。
- 模試結果で志望校を下げる生徒がいなかったのが最後まで戦えた。高い目標を持ち続け努力することにより結果は必ず出ると信じることも必要。

『卒業生』の声 ～卒業生合格体験発表会より一部を抜粋～

やって良かったこと

- 勉強に行き詰まったら自己分析。何が足りないか分かったら、その不足を埋めるための短期・中期・長期の目標を設定して第一志望合格に至る計画を立てるのが良い。
- いつもポケットに英語などの単語をまとめた紙を入れておくとスキマ時間に利用できる。
- 放課後、学校の図書館で勉強したこと。模試をたくさん受けたことも良かった。
- ずっと志望校を変えずにやってきたのが良かったのかもしれない。

後輩へのアドバイス

- センター試験後の気の緩みに気をつけてください。やる気がない日は、自宅でやらず、どこかで勉強した方が良い。ケータイは持ち歩かない！
- 早く志望校を決めること！高い目標が自分を引っ張り上げてくれる。
- 模試の判定は気にしすぎない方が良い！良ければ喜んで、悪ければ返却されたものから自分で弱点を探っていく。結果が出ないときでもあきらめないこと！

足高生に



足高生の魂に『響』くメッセージをお届けしていきます。

今回は、学習指導部長の 戸倉川大介 先生です。



先日、部活動の練習試合で県外のある普通科の高校を訪問した。たまたま日課表の話になり、その高校は7時間授業が週に2日だけと聞いた。足高生は家庭学習だけでなく、授業時間でも他校生よりも多く学習をしているのだ。高校には様々な学校がある。高い専門性を身につける高校、部活動を極める高校等様々である。では、足高生の使命は何か。言わずもがな、「文武両道」。「武芸」を努めながら進学校生徒としての高い学力を目指す。そして将来、地域や日本を支えるリーダーとして活躍を期待されている。言うは易く行うは難し。日々怠らず、努力をしてほしい。

足高進路室より

今年度第1号の『崖響』を無事に発行できました。今年度も足高職員一同生徒の第一志望実現のために全力で取り組んで参ります。またこの『崖響』におきまして有意義な情報を発信すべく努めて参ります。

今回のイラスト：大塚澤音（美術部）

ご意見・ご要望はお気軽に足高進路通信担当（飯村）までお寄せください。